



伊豆市議会だより

No.53

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906 **2017.8.1発行**

5/22 月

生きいきプラザ



5/23 火

土肥支所



5/25 木

中伊豆ふれあいプラザ



5/26 金

天城保健センター



伊豆市議会では、「開かれた議会」「住民が参加する議会」を目指し、「議会報告会」を4地区で開催しました。
(P13に掲載)

目次

■ 6月定例会の概要	2
■ 一般質問	7
■ 第3回臨時会概要	12
■ 議会報告会を開催しました	13
■ 9月定例会の予定等	14

平成29年6月定例会

平成29年6月定例会が6月8日から29日までの会期（22日間）で開かれ、報告6件、補正予算5件、条例の制定3件、条例の一部改正5件、その他1件が上程され、審議の結果、原案のとおり可決しました。また、請願書1件と意見書1件が提出され、請願は採択、意見書は可決しました。

一般会計の総額は、166億2千473万円になりました。

平成29年度補正予算

◆一般会計補正予算（第2回）

人事異動に伴う職員給与費所要額の調整のほか、湯の国会館及びだるま山高原観光施設の改修工事259万円、旧湯ヶ島小学校プール解体に伴う防火水槽設置のための調査・設計業務340万円、同報無線アナログ機器更新工事2千254万円などを増額するとともに、文教ガーデンシティ事業の中止に伴い、新中学校実施設計業務委託1億1千880万円の減額、当初予算に計上済みの建物移転に係る補償費4千222万円、策定済みの第2次総合計画の修正業務委託647万円の増額など、総額6千420万円を減額するものです。

◆公共用地取得事業特別会計補正予算（第1回）

公共工事の代替用地取得のため4千30万円増額するもの。

◆国民健康保険特別会計補正予算（第1回）

人事異動に伴う職員給与費所要額の調整のため439万円減額するもの。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回）

人事異動に伴う職員給与費所要額の調整のため14万円増額するもの。

◆一般会計補正予算（第3回）

※海区漁業調整委員会委員補欠選挙に係る費用145万円を増額し、歳入・歳出予算額を166億2千473万円とするもの。

※海区漁業調整委員会とは、海面について、農林水産大臣が定める64の海区ごとに都道府県に設置されている行政機関です。委員会は、漁業者及び漁業従事者を主体とする漁業調整機構として、関係者に対して必要な指示をすること、漁業権に関する事項について知事に意見を述べることなどにより、水面の総合的利用と漁業生産

条例の制定

◆伊豆市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定
半島振興法に規定する半島振興対策実施地域内において、特別償却設備の新設等をした場合の固定資産税について減免を実施するために、新たに条例を制定するもの。

◆伊豆市過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例の制定
過疎地域自立促進特別措置法に規定する過疎地域において、特別償却設備の新設等をした場合の固定資産税について課税免除を実施するために新たに条例を制定するもの。

◆伊豆市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定
地域再生法に規定する地方活力向上地域内において、特別償却設備の新設等をした場合の固定資産税についての減免を実施するために新たに条例を制定するもの。

条例の一部改正

◆伊豆市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正
市の職員を公益的法人等へ派遣した場合の期末手当等の基礎額に地域手当相当額を反映させるため

◆伊豆市消防団条例の一部改正
消防団の団員定数が実団員数とかけ離れているため、実数に近い定員数に改正。また、団員数を確保するため、市外転出者も身分を継続することができるようにするもの。

◆伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、非常勤消防団員等の損害補償

の基準を改正するもの。

◆伊豆市国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令の改正に伴い、低所得者の軽減判定所得基準額を引き上げるために改正するもの。

◆伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正
特定教育・保育に係る保育料について、子ども・子育て支援法施行令等の改正に伴い、市町村民税非課税世帯の第2子の無償化及び、ひとり親世帯等の保護者負担の軽減措置の拡充のために所要の改正を行うもの。

その他

◆市道路線の変更について

市道修善寺辻2号線は、地権者からの寄付により、市道修善寺栗原3号線と接続する路線となるため、路線が延長されることによる終点位置の変更を行うもの。

報告

◆専決処分報告（交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）

◆専決処分報告（施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）

◆平成28年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告

◆平成28年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告

◆平成28年度伊豆市下水道事業特別会計予算の繰越明許費の報告

◆平成28年度伊豆市下水道事業特別会計予算の事故繰越しの報告

意見書

◆組織犯罪処罰法改正案の慎重審議を求める意見書
参議院で審議中であつた組織犯罪処罰法の改正に関し、内閣総理大臣等に慎重審議を求めるもの。

請願

◆中学校教育環境改善に関する請願書
教育環境充実に努力する市民の会から提出。

【請願項目】
1、教育環境改善に向けた議論を可及的速やかに開始すること。

2、遠くない期限を設け、今後の中学校の在り方について複数の方針を明示すること。

3、市民、議会、行政が一丸となって、より良い教育環境実現に向け努力すること。





委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

第1委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会負担金160万円の事業内容と、今回予算計上した理由は。

答 静岡県や交通事業者を含め、下田市、伊豆市、沼津市戸田地区、西伊豆、松崎、南伊豆町で協議会を結成して、広域での公共交通をいかに維持していくか計画を策定し、これまでに、修善寺駅・下田駅などの交通調査や広域幹線道路の見直しなどを検討してきました。今年度、国の3分の1の補助金の内示を待つて、関係3市3町がそれぞれ6月議会で予算計上することになったためです。

問 文教ガーデンシティ総合調整事業の建物移転等補償金4千222万円について。①2件

の補償以外に問題になることはないか。②それぞれの金額はいくらか。③補償金額の算定根拠は。

答 ①契約に基づき、市として責務があるものはこの額です。②個人情報保護の観点から個別の金額を示すことはできません。③専門の資格を持った業者に委託して、国や県が採用している算定基準と同様に委託業者が算定した金額です。

問 総合計画策定業務委託料等647万円について、現段階での総合計画の進め方について考え方を聞きたい。

答 文教ガーデンシティ事業としての枠組みで事業を進めることができなくなりましたが、施策として、総合計画に上がっていたものをどのように組み替えるのか、他にどのようなことが可能か、まずは庁内のな検討を進め、審議会を秋口から始めて、ある程度たきたき台をつくり、いろいろな議論をしていきたいと考えています。

◆伊豆市公共用地取得事業特別会計補正予算(第1回)

問 柏久保市内の土地の取得は、オリンピックに向けた道路改良の

余剰地の取得ですが、今後の使い道は。また、オリンピックまでに行けるのか。

答 改良後は、2車線の道路に歩道が整備され、優良な土地となります。代替地などとして、有効活用したい考えです。また、県ではオリンピックの1年前に開催される世界選手権に合うよう、目標に向けて頑張っているところで

◆伊豆市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正について

問 公益法人は何を想定しているのか。派遣する必要があるのか。

答 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への派遣を想定しています。伊豆市のペロドルームが会場になっているので、会場運営、輸送問題、宿泊関係などの運営がスムーズにいくようにするため必要性はあると考えています。

◆伊豆市消防団条例の一部改正について

問 条例改正の理由は。

答 実際の団員数に近い定員数にする事と、実家が伊豆市にあり、

仕事の都合で市外に住所を変えざるを得なくなった場合、住所を変更しても、そのまま継続して、伊豆市の消防団員として活動できるようにするための改正です。

◆伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

問 改正の根拠と、今回の改正で支給額は上がるのか。

答 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が、平成29年3月24日に改正されたのに伴い改正するものです。支給額については、今年度から段階的に扶養手当分の増額と減額があります。今回、配偶者の加算額は100円下がり、子供の加算額は50円上がっています。



第2委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 沼津特別支援学校の高等部への通学補助は、なぜ、市から直接ではなく、社会福祉協議会を通すのか。また、全額をそのまま交付するのか。

答 この補助金は実績に応じて保護者が加入している団体に交付します。福祉関係の団体への補助金は、他の補助金も社会福祉協議会を通して交付しています。なお、保護者には費用の一部を負担していただきます。

問 県からの要請による熊本地震の支援のための普通旅費には、宿泊費等が入っているのか。

答 この普通旅費は、移動手当と着任・着後手当です。2ヶ月間の宿泊費は、県の借り上げたアパートに住むので、この普通旅費の中には入っていません。また、食費や光熱費は自己負担です。

◆伊豆市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について

◆伊豆市過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する

る条例の制定について

◆伊豆市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について

問 この3条例の制定により減収となる固定資産税については、地方交付税で補填されることだが、3条例ともか。

答 3条例とも、全額ではなく減収となった金額の75%が交付税措置されます。

◆伊豆市国民健康保険条例の一部改正

問 伊豆市独自で上乗せした軽減があるのか。また、この改正によりどのくらい軽減されるのか。

答 来年度から国民健康保険事業が都道府県に財政が一本化されることから、基準額や限度額も合わせています。本算定前なので試算の数値ですが、改正によりあらたに軽減の対象となる世帯と金額は、2割軽減世帯が9世帯で21万9千円、5割軽減世帯が16世帯で77万円と見込んでいます。

◆伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正

問 この改正により保育料の軽減

を受ける園児数は何人か。

答 保育料が無償になる非課税世帯の第2子と、減額措置の対象となる1人親世帯の第2子は合計で11人です。



◆中学校教育環境改善に関する請願書

問 「遠くない期限を設け」とあるが、どのくらいの期限なのか。また、「複数の方針を明示すること」とあるが、方針とは1つではないのか。

答 市民の皆さんと議論をしたいといった場合、すぐにはできないと思うが、そんなに長い期間ではないということ。また、方針ではなく選択肢だと思います。方

針を明示するという言葉の背景に、もう決まっていますと説明されても、保護者は検討できませんので、決定ありきではなく、策定段階から意見を聞きながら進めてほしいという思いが入っています。

問 今回は、中学校のみという請願だが、中学校の再編成を考えると、小学校を外すことはできないと思うが、小学校のことはどのように考えているのか。

答 今回の流れを、立ち止まらないうちに議論してほしいという思いが強い。小学校のことも考えなければいけません。小学校のことまでの議論ができていないという状態です。

その他審査の共通理解

議会として請願者の思いに伝えるため、何等かの形で検討していくべきとの意見で一致しました。

市政を問う

～一般質問～

13人の議員より一般質問がありました。そのうち、
主なもの1件についてお知らせします。(要約・質問順)

教育長 答弁

小中学校のオリピック期間中の参加協力は、現段階では未定です。

東京2020大会の準備として「おもてなし」に関しては、東京都に先駆けてボランティアの募集及び育成を始めました。その他にも、市内の子ども園や中学校で出前講座を開催しています。自転車に触れ合うことで機運醸成を図り、東京2020大会への市民参加につながってレガシーに結びつけてくれればと考えています。スマホ等の使用環境は、修善寺駅を中心にWi-Fi（公衆無線LAN）が整備されています。

産業部長 答弁

今後の対策を検討しています

市民として「おもてなし」に参加できることを期待しています。小さなお子さんに出番はありますか。小学生はどうですか。中学生や高校生はいかがですか。消防団員は、いかがですか。スマホの使用環境の整備はできていますか。



2020年のオリピックに市民も参加できるように準備をしていますか。

市民として「おもてなし」に参加できることを期待しています。小さなお子さんに出番はありますか。小学生はどうですか。中学生や高校生はいかがですか。消防団員は、いかがですか。スマホの使用環境の整備はできていますか。

（森 良雄議員）

質問

市民にレガシーを!!

教育長 答弁

促進の窓口を以前から考えていますが、イメージされた窓口はまだできていません。

監査委員の意見に、産業部の中の産業振興部分は特別会計にしたかどうかとあり、今の産業振興協議会をつくったのはそこまでの途中段階だという認識です。行政が管理監視する部分とビジネスを振興する部分は分けて考えて、ビジネスの部分は、観光協会や商工会と一緒に収益を上げられる組織を作るのが望ましいと考えています。監査委員の意見は、常に重視しています。

市長 答弁

監査委員にいろいろ意見を送りたい

コンプライアンスを意識した自治体であることを内外に表現できるよう名称を工夫した機能的で効率的な組織を作りあげるべきです。特に、移住・定住、子育て、教育等々の各種支援策の情報発信を確かなものにし、相談や受け入れをワンストップで対応できる窓口を作りあげるべきです。



伊豆市の魅力や特徴をわかりやすく表現し

（山口 繁議員）

質問

活力ある行政組織に向けて

平成29年第2回（6月）定例会での賛否状況

件名	議決結果	波多野靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野みどり	鈴木 正人	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
予 算																
平成29年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	棄権	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	○
平成29年度伊豆市公共用地取得事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例																
伊豆市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市消防団条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他																
市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願																
中学校教育環境改善に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
意見書																
組織犯罪処罰法改正案の慎重審議を求める意見書	可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○

※1 ○賛成 ×反対
 ※2 議長（三田忠男）は、可否同数の採決以外は、採決に加わりません。

質問 災害時における情報伝達整備



(小長谷順一議員)

6月4日に情報伝達・確認訓練が行われました。この訓練は市からの情報を市民がどのように入手するかを、自主防災会と消防団が連携して確認するためのものです。

今後の同報無線の整備、災害時緊急放送に関する協定を結んでいるFMISの難聴地域の解消や、SNSを活用した情報収集について伺います。

市長 さまざまな情報発信を 市答 してまいります

同報無線はほとんど聞き取れなかった。限界があると改めて痛感をしたところです。天城湯ヶ島地区が32年、土肥地区が開局して23年が経過し故障等が発生すると、部品供給ができなくなるなどが常であり、検討を要するところです。また、コミュニティFMを活用する方面で進めているところです。SNSも災害の時には効果がありますが、正確な情報が広く流れる危険性も排除できません。どのような形で整理していくか、準備をしてまいります。

質問 発達障がい児支援の拠点整備の今後は？



(岡野みどり議員)

子育て世代の要望は「休日でも安心して遊べる場の整備」「不妊治療助成金の増額」など様々です。しかし、文教の問題が白紙になり一番皆様に聞かれる事は、こども園に計画する予定だった児童発達支援事業の整備はどうなってしまうかと言う事です。多くの方が望んでいる事です。今後どのように考えているでしょうか。

市長 社会全体で支える 市答 体制をつくりたい

こども園の移転、整備を断念せざるを得なくなりましたので、まずは機能をどうするか、そこで当面は、ほかの福祉事業もやり、看護師もいる「あゆのさと」あるいは障害者施設と併設している「天城こども園」などに機能をしばらくお願いする選択肢もあるのではないかと思います。

質問 教師の多忙感解消の取組みを



(木村 建一議員)

教師が疲弊しては、「自立した人間を育て個人の能力を伸ばすという」教師の役割を果たせません。子どもとふれあう時間を増やすことが重要です。

①伊豆市の勤務時間の実態はどうなっていますか。
②部活動における負担軽減を検討しませんか。

市長 多忙化解消による教育の 市答 向上を検討します

①の実態については正確な数値まで把握しておりませんが、各学校の入学時間や退校時間は近隣市町や全国的な時間と相違ないものと認識しています。
②部活動の負担軽減対策として、今年4月より学校教育法施行規則が一部改正され、中学校に部活動指導員を置くことができるようになりました。文科省では、今後軽減に向け、適切な練習時間や休養日の設定等も含めた部活動に関する総合的なガイドラインを作成する予定ですので、それを受け検討していきます。

質問 学校給食費「無償化」を検討しませんか？



(鈴木 正人議員)

昨今、「子どもの貧困」が叫ばれている中、家庭の経済事情によって教育格差とともに「栄養格差」の問題も指摘されております。

①学校給食費の無償化によるメリット・デメリットをどのように考えますか。
②伊豆市内の小中学校で「学校給食の無償化」を導入した場合、財政からの支出はいくらになりますか。

市長 無償化が良いかまだ確信が 市答 持てない状況です

①の学校給食費「無償化」のメリットは、保護者としては負担軽減、行政面では給食費の収納業務がなくなり事務の簡素化があります。一方デメリットは無償化分を伊豆市が負担する事になり、財政負担の増になる事です。

市長 教育費の「無償化」を導入した場合の 市答 市の財政負担は、現在保護者から納めていただいている給食費の額が年間約1億円です

ので、無償化した場合の市の負担は年間1億円と見込まれます。

質問 菊地市長の進退を問う



(西島 信也議員)

菊地市長は、昨年4月の市長選において、今後の伊豆市の主要事業に文教ガーデンシティ計画をあげ、「加齢・日向地区に今までは次元の異なる歴史的なまちを作る。私が動くところ神風が吹き、あと4年菊地の運にかけてほしい。」と演説したが、文教ガーデン構想が明確に否定された今、ご自身の進退をどのように考えているか。

市長 まずは議会の対案を 市答 示していただきたい

私の責任のあり方を検証するために、議会の対案を示していただきたいと思えます。これほど国・県と協議し、財源も確保し、しっかりと積み上げてきた必要かつ未来に対する投資の事業を議会は自信を持って否決されたわけですから、当然これを凌駕する対案があるはずで、仮に、小学校6校、中学校3校を現状で維持存続させるのであれば、改築か改修であり、財政シミュレーションが可能になります。その上でどなたが立候補されるのであれば、私の責任の取り方もあろうと考えます。

質問 今後の新たな小中学校の在り方は



(小長谷明夫議員)

5月16日の臨時会において、教科教室型を導入した3中学校統合、それに連動した修善寺地区の4小学校統合は否決されました。しかし、少子化等に伴う伊豆市の小中学校が置かれた状況、課題を解決することは、喫緊の課題です。そこで①新たな小中学校の在り方②修善寺地区4小学校の統合について、2点伺います。

市長 改めて学校施設の整備 市答 に関する計画を策定

①市長からの行政報告で答えましたとおり、さきの総合教育会議の検討を踏まえ、第2次学校再編計画の見直しではなく、改めて今後の学校施設の整備に関する計画を策定する方針です。

教育委員会では、児童・生徒の教育環境を 市答 よりよくすることを基本に、教育振興審議会において審議を願う、方針案を策定したいと考えております。

②修善寺の4小学校につきましても、①と同様です。

質問 若者の声をもっと市政に反映すべし



(杉山 誠議員)

文教ガーデンシティ構想では、新中学校やこども園建設に対して、関係する保護者などから推進を求める多くの声が議会に寄せられていましたが、否決されて中止となりました。

伊豆市の将来を背負って立つ、若者の声を活かし、希望の持てる地域とするために、今後進める政策形成過程において、若者の参画する機会を増やすべきだと思いますがいかが

市長答 長井 安定的な新しい制度を 含む仕組みが必要

政策形成過程全体において、どのように主催者である若者の声を反映していくかは、先進国共通の課題だと思います。

伊豆市においても、それぞれの政策を執行するうえで、未来づくりセッションやワークショップ、子ども議会等、これまで取り組んできましたが、もう少し、固定的安定的な制度を構築し、若い世代を含む男女に入っていただいて、意見を言っていただけける仕組みが必要であると思います。

質問 狩野川公園向かい側の 更地後の有効利用を



(和馬 和馬議員)

国道136号線を大仁方面から狩野川大橋を越えると伊豆市。右側を見ると、大変醜い

廃墟な建物があり、景観上、防災上最悪な状態でした。熊坂区として長年撤去の要望、陳情をしてきました。その結果、大変ありがたいうちに更地になりました。民有地ですが、市としてどのような有効利用を検討していますか？

産業部長答 民有地のため 積極的にはできません

民有地のため、市から積極的に活用することはできません。伊豆市には、事業用地空き家空き地物件情報登録制度というものがありますので、地権者の方と相談させていただき、その制度に登録してもらうことは可能です。

※事業用空き物件の情報を有効活用することで、地域経済の活性化を図ることを目的とする制度。

質問 文教否決後のまちづくり はどうしますか



(下山 祥二議員)

文教ガーデンシティ事業は最終的に議会で否決され、伊豆市に与っては合併特例債が間に合わなくなり、本当に大きな損失となりました。しかしながらそれぞれの事業は喫緊の課題であります。特に中学校の再編、統合、修善寺東こども園の建替、中伊豆温泉病院の移転問題等、限られた財政で今後のまちづくりはどうしますか？

市長答 長井 まずは総合計画の見直しから

中学校統合が廃案に追い込まれた現在、中伊豆中学校、天城中学校、修善寺中学校を仮に10年置きに建て替えるとする、当初想定していた市民負担は増えます。さらに別の事業と合わせますと、順次実施するにしても、どのように財政をみていくかということは大変大きな課題になります。したがって、全体の構想を示せるのは、今後着手する総合計画の見直し作業になってしまふのかと思います。

質問 伊豆市の財政の現状は



(青木 靖議員)

今後、総合計画等の長期的な計画が見直されることで、直近の計画にどのような影響がありますか？

また、今後、市が新たな事業を行う際に、新たな借り入れをすると、財政運営に影響がありますか。

総務部長答 長井 今後の財政規模では、財政 運営への影響は免れない

すでに予算が確定されているものについては、財政計画に入っているのでありますが、仮に今回計画した文教ガーデンシティ事業と同規模のものを3、4年で行う場合は、合併特例債が使えないのでできないと考えています。市は、これまで起債をする際は、地方交付税措置があるものを選択し、市の負担の軽減を図ってきました。今後の学校のあり方、こども園、防災拠点の整備は未解決のままですが、仮にすべて実施する場合、今後の財政規模では、市の財政運営への影響は免れないと考えます。

質問 今後の中学校の在り方



(波多野 靖明議員)

現在、中学校の抱える教育環境の課題は、何も改善されないうままとなっています。

各中学校の老朽化問題・生徒数減少による教員不足・部活動の縮小・学校行事の縮小・クラス替えができない・PTA役員固定化等の保護者負担等々。市民から不安の声が絶えません。今後の中学校再編について、いかがお考えでしょうか。

市長答 長井 教育振興審議会及び 教育委員会で十分な検討

今後の中学校の計画については、新中学校という再編成がいいのか。あるいは各地区に中学校を残したほうがいいのか、教育施策のあり方について、ゼロベースから教育振興審議会や教育委員会で検討を行ってまいります。具体的な作業の進め方も現在、検討中です。

特に保護者や市民の意見を聞き、計画案の検討を進め、ハード面ソフト面を総合的に審議していく予定です。したがって、時間も必要ですし、より慎重に進めなければと考えています。

※映像は、伊豆市のホームページで配信しています。

**インターネットで中継を
買収したため**

・本会議のインターネットライブ中継は、当日の会議の様子を生中継しますので、会議の時間以外には見ることはできません。概ね1週間後に編集される録画中継は繰り返しご覧いただけます。

また、平成29年度からYouTube(ユーチューブ)を活用した録画配信を行っています。

議会報告会 ～みんなで語る会～ を開催しました

伊豆市議会では、平成29年5月22日(月)、23日(火)、25日(木)、26日(金)の4日間、4地区で「議会報告会」を開催し、平成29年度一般会計予算の概要及び委員会審査報告とワークショップ(意見交換)を行いました。市民の方から議会や市政について、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました



平成29年度一般会計予算についての質疑

- Q** 文教ガーデンシティが白紙になったが、中学校の統廃合など、いつどのようにしたら良いのかを議会として検討しているか。
- A** このまま何もしないというわけではなく、学校・子ども園などは大切な事なので、議会としても議論、検討を進めていきたいと考えています。
- Q** 天城湯ヶ島(仮)IC周辺道の駅全体の総予算が、7億7千万円と聞いているが、内容について説明してほしい。
- A** 本年度の関連予算は約1億6千万円で、用地取得費、実施設計委託料などです。国交省がトイレと駐車場を整備しますが、それ以外の施設の細かい活用などについては、市の総合戦略課が引き続き市民の皆さんの意見を聞いていきたいとのこと。

●ワークショップでの意見 (たくさんのご意見を伺いましたが、ここでは一部を紹介します。)

5/22(月) 修善寺地区 生きいきプラザ

- 自主防災会と行政との情報交換、自立を含めた自主防災会のありかたを検討してもらいたい。
- DMOマーケティング調査によると伊豆市は楽天の認知度は高いが、観光客はさほど来ていない。スポット以外の場所の魅力を高める必要がある。
- 少子化が進む中、義務教育機関に平等にすべての子どもたちに良い教育環境を整備してほしい。

5/23(火) 土肥地区 土肥支所

- 土肥地区の既存の公衆トイレの改修を含む、観光トイレの整備を進めてもらいたい。
- 土肥の観光の将来像についてどのような計画があるのか。ぜひ観光客を呼び込む政策を進めてもらいたい。
- 各行政区開催の敬老会は、区役員の負担が大きいので、市主催の「4地区開催」に戻してもらいたい。

5/25(木) 中伊豆地区 中伊豆ふれあいプラザ

- 3年前の大雪による除雪作業に大変苦労した。今後の雪害時の対策を強化してほしい。
- 中豆斎場、八岳小学校の跡地の活用を進めてもらいたい。
- 中伊豆温泉病院は地域医療にとって大切である。中伊豆地区を医療のまちにってもらいたい。

5/26(金) 天城湯ヶ島地区 天城保健センター

- 天城湯ヶ島(仮)IC周辺道の駅を、「足湯」の設置などにより、サイクリストやオートバイのライダーも利用しやすい施設に整備してほしい。また、サイクリストが安全に走れる道路の整備も進めてもらいたい。
- 東京オリンピックに向けて、生徒の外国語の語学力向上のためにもっと予算をつけたらどうか。
- 学校のあり方は、もっと話し合う必要がある。

※皆さまからいただいたご意見や実施報告書、アンケート結果などの詳細については、伊豆市のホームページに順次掲載していきますので、ご覧ください。

平成29年 第3回臨時会

5月15・16日、平成29年第3回臨時会を開催し、市長から議案2件が提出されました。

平成29年度一般会計補正予算(第1回)は否決、専決処分(報告及びその承認について(伊豆市税条例の一部改正))は、承認されました。

◆一般会計補正予算(第1回)

「文教ガーデンシティ事業」に係る経費の総額9億5千333万円のうち、第2回臨時会の時に見送った総額8億1千853万円を改めて提出した。

主なものとして、住宅地・代替地造成設計業務委託料、住宅代替地造成工事、住宅代替用地取得ほかで、9千444万円。修善寺地区こども園設計業務委託料6千173万円。道路用地取得及び文教プロムナード道路新設工事は2億7千264万円。公園設計業務委託料ほか4千789万円。防災備蓄倉庫設計業務委託

料ほか3千470万円。新中学校用地取得など3億713万円増額し、歳入・歳出予算額を175億600万円とするもの。

その他

◆専決処分の報告及びその承認(伊豆市税条例等の一部改正)

地方税法の改正に伴い、伊豆市税条例の一部を改正するもの。施行が平成29年4月1日とされているため、3月31日付で専決処分をしたもの。

◆一般会計補正予算(第1回)の主な質疑

問 新中学校の運営方式を計画どおり教科教室型に移行した場合、中学3年生は、統合と勉強する環境の変化に加え、高校受験を迎えるが、保護者の不安をどのように解消するのか。

答 ①再編成の前に、3中学校の交流会等を実施して、少しでも知り合える仲間が増えるようにしていきたいと思っております。

②天城中、中伊豆中の生徒数は少ないので、クラス編成をするときには、配慮をしていきたいと思

ます。

③再編成時の3年生は教科教室型ではなく、従来どおりの授業形式を取り入れたいと思っております。ただし、英語については効果のある英語教室で授業させたいと考えています。

問 これだけの大きな事業で、市民の意識が高まっているにも関わらず、市民の総意を反映できる事業環境になっていないことが混乱を招いている原因だと思いがどのようか。

答 目玉の一つであった住宅地が病院に変わった事と、財政的な問題ではなからうかと推察しています。

この財政制度についての説明が不十分であったこと、真の市民負担というものも説明が不十分であったことから、幅広い年齢層で一番不安になったのだろうと推察しております。

また、説明も早目に、丁寧にしていきたいことが大事だと感じています。

平成29年第3回(5月)臨時会の賛否状況

件名	議決結果	波多野晴明	山口繁	星谷和馬	間野みどり	鈴木正人	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
予算																
平成29年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)	否決	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×
その他																
専決処分の報告及びその承認について(伊豆市税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 28 年度後期分（11 月～ 3 月）政務活動費の収支状況

単位（円）

	IZU 未来	市民第一 クラブ	伊豆市民 ネットワーク	木村建一	森 良雄	山口 繁
所属人数	7 人	2 人	2 人	1 人	1 人	1 人
交付金	525,000	150,000	150,000	75,000	75,000	75,000
調査研究費	0	0	5,990	70,000	75,000	0
研修費	372,786	23,640	24,020	0	0	68,530
資料作成費	3,660	0	0	0	0	0
資料購入費	18,592	24,915	41,224	5,000	0	7,148
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0
広報費	0	0	0	0	0	0
広聴費	0	0	0	0	0	0
事務費	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0
計	395,038	48,555	71,234	75,000	75,000	※ 75,678
返還額	129,962	101,445	78,766	0	0	0

※自己負担分も含まれています

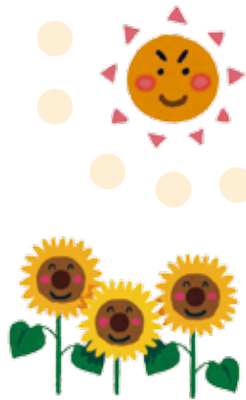
会派変更届があり、6月から山口、星谷議員が市民第一クラブに入りました。

議会傍聴について

本会議はごなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

（議会事務局 0558-7219906）



9月定例会の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分～

9月4日（月）行政報告

議案上程

7日（木）一般質問

8日（金）一般質問

12日（火）議案質疑

29日（金）委員長報告

質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

9月定例会
委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室

時間 午前9時30分～

9月13日（水）・15日（金）

第1委員会

14日（木）・19日（火）

第2委員会

編集後記

5月の臨時議会で文教ガーデンシティ構想は否決され、白紙撤回となりました。しかし行政は立ち止まることなく前進しなくてはなりません。

ところで先日、来賓にお招きいただいた運動会では、伝統を守り続けている中にも、その年々の特徴を出した応援合戦やダンスなど、見ていて大変感動致しました。子ども達の未来のため、伊豆市の発展のために全力で頑張ります。季節は盛夏、熱中症等に気をつけ乗り切ってくださいませよう。

議会広報委員 星谷和馬